



循環型社会へのチャレンジ

C S R
報 告 書

2017

株式会社 横山サポートテック

当社では、3Rという行動指針を掲げ、
リサイクルへの取り組みを行っています。

Reduce
リデュース

ごみを減らす



Reuse
リユース

繰り返し使う

Recycle
リサイクル

再び資源に使う



Contents

- トップメッセージ
- 会社沿革
- 会社概要
- 事業内容
- 環境マネジメント
- 環境とのかかわり
- 安全衛生への取り組み
- お客様とのかかわり
- 地域とのかかわり
- 社員とのつながり

編集方針

● 環境報告書 2017 は、株式会社横山サポートテックの環境に対する取り組みをまとめたもので、利害関係を有する方々に正確にわかりやすくお伝えする目的で発行しました。

報告対象期間

- 2016年3月～2017年2月

本報告書に記載している活動実績については、2016年度の活動を中心に報告していますが、一部それ以前の活動等も含んでいます。

報告時期

- 2017年4月



『お客様に + α の提供を 心がけよう！』

おかげさまで弊社も創業57年、会社設立から51年が経ちました。一昨年には社員とその家族、また功労者の皆様をお招きし、盛大に50周年祝賀会を執り行うことが出来ました。ここまで順調に歩んで来られたこと、会社として半世紀を迎えることが出来たことは皆様のご愛顧の賜物と感謝いたしております。

社員には常々「お客様に + α の提供を心がけよう。」と伝えています。これは具体的な形は特定していませんが、お客様が私達に求めている以上に喜んでもらえる「何か」を提供出来るようにと願ったからです。些細なことでも構わない、お客様のことを考えて創意工夫や努力をすることで一歩ずつでも成長し、いずれ「感動」してもらえるサービスに繋がればと考えています。

ここ数年は弊社の社員が赤穂商工会議所主催の10年勤続優良従業員表彰を続けて受賞することが出来ました。表彰して頂く社員本人だけではなく、家族の皆様にも生活の安定と安心が提供出来ていることや、会社としての経営が安定していることの証しとして共に喜ばしく感じます。

廃棄物の適正処理は「無害化」「再資源化」「有効利用」です。弊社では主に廃棄物の収集運搬、中間処理を行っており、廃棄物を出来る限り有効利用し、埋立処分に極力頼らない処理提案が出来るよう日々、情報収集を行い、各提携処理会社の皆様と循環型社会形成に向けて取り組んでおります。常に重量換算で搬入量を管理しており、常時リサイクル率90%以上を維持しています。産業廃棄物として代表的な建設系産業廃棄物のリサイクル率が57.1%ということを見ると非常に高い数値と言えます。

また、廃棄物の再利用や再資源化にはその製品自体の素材の把握が重要です。排出事業者様の工場から発生する廃棄物の排出抑制、リユースの提案を積極的に行い、実際の作業まで請け負うことで多量発生する廃棄物削減の一助となっています。

さて、本年弊社ではCSR報告書を発行することになりました。これは企業の社会的責任という観点から作成する報告書になりますが、以前から私どもが行っていた活動、私どもの仕事に対する姿勢を、これまでご支援頂いた皆様にもっと知って頂こうと社員が発案したことから実現しました。私達が業務に対して真剣に考え取り組む様子や、地域を大切に考え活動していることを少しでも皆様にお知らせ出来る機会になれば幸いです。

株式会社横山サポートテック
代表取締役 横山 淳平



会 社 沿 革

昭和34年12月1日	横山倉一が創業 営業品目 再資源（製紙・製鋼原料）・・・ 1
昭和41年3月1日	会社設立（有限会社 横山商店）
昭和48年6月24日	横山正明 代表取締役就任
昭和50年2月1日	赤穂市一般廃棄物処理業（収集運搬）許可取得（一般廃棄物業開始）
昭和50年5月1日	赤穂市中広1367番地1に移転・・・ 2
昭和52年12月19日	兵庫県産業廃棄物処理業（収集運搬）許可取得（産業廃棄物業開始） 以後、岡山県・山口県・広島県・神戸市・尼崎市・姫路市・岡山市・三重県・北九州市の産業廃棄物処理業（収集運搬）許可取得
昭和62年5月1日	構内作業部開設（現在のサポート事業部）
平成3年3月10日	コンテナ車（脱着ボデー車）導入
平成5年8月1日	バキュームダンパー車及びブロー車導入し、液状廃棄物の取り扱い開始
平成8年1月5日	兵庫県産業廃棄物処理業（中間処理（破碎））許可取得 赤穂市一般廃棄物処理業（中間処理（破碎））許可取得
平成8年2月1日	神戸営業所開設
平成8年11月1日	社名変更（横山商店から横山サポートテックへ）
平成11年7月16日	ISO14001認証取得
平成13年11月1日	資本金増資にともない株式に組織変更を行い、同時に土木事業部の新設（株式会社横山サポートテック）
平成13年12月28日	建設業許可取得（土木工事業、とび・土工工事業）
平成15年3月6日	岡山市産業廃棄物処理業（中間処理（移動式による造粒固化））許可取得
平成15年3月25日	岡山県産業廃棄物処理業（中間処理（移動式による造粒固化））許可取得
平成16年2月20日	兵庫県産業廃棄物処理業（中間処理（減容化））許可取得
平成16年7月1日	特定労働者派遣事業開始
平成18年1月11日	現在地（赤穂市中広1370番地1）に事務所移転・・・ 3
平成20年3月31日	破碎施設のリニューアル（再断式破碎機の導入）・・・ 4 倉敷市産業廃棄物処理業（中間処理（移動式による造粒固化））許可取得
平成21年4月7日	大型ヒアプ付コンテナ車（脱着ボデー車）導入・・・ 5
平成21年7月30日	NPO法人エコキャップ推進協会に登録
平成21年8月5日	中間処理（破碎）許可品目に繊維くずを追加
平成23年4月8日	上郡町一般廃棄物処理業（収集運搬）許可取得
平成23年9月1日	横山淳平代表取締役就任
平成24年11月15日	一般貨物自動車運送業許可取得
平成25年1月4日	計量証明事業登録
平成25年3月27日	倉庫業登録
平成26年8月27日	株式会社中国銀行 無担保「エコ私募債」第1回発行
平成26年9月26日	廃家電の積替え・保管許可取得（兵庫県）
平成26年12月15日	微量PCB収集運搬業許可取得（岡山県）
平成27年1月8日	微量PCB収集運搬業許可取得（兵庫県）
平成28年7月1日	労働者派遣事業許可取得
平成28年12月28日	建設業許可に解体工事業を追加



1



2



3



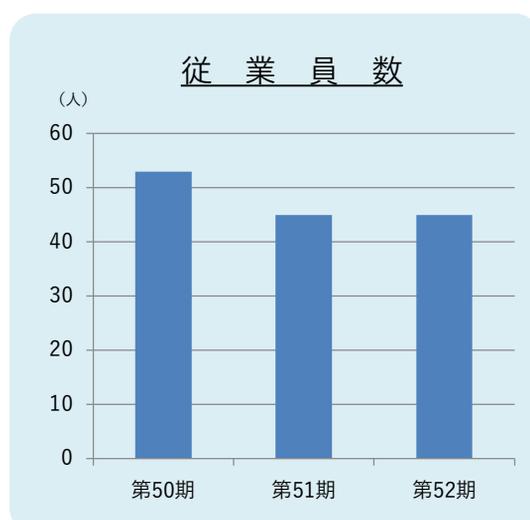
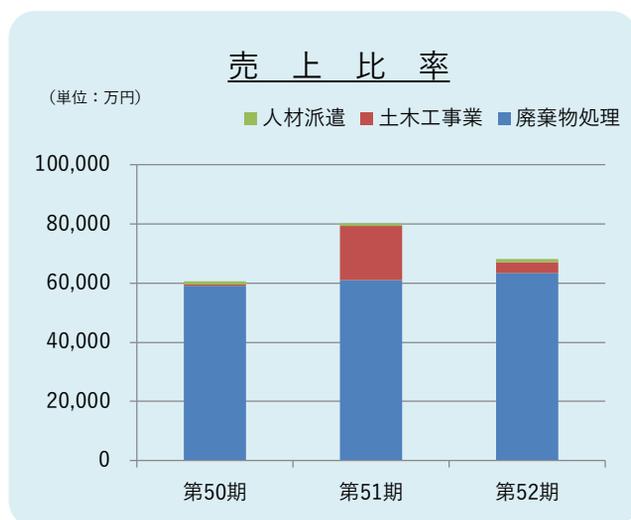
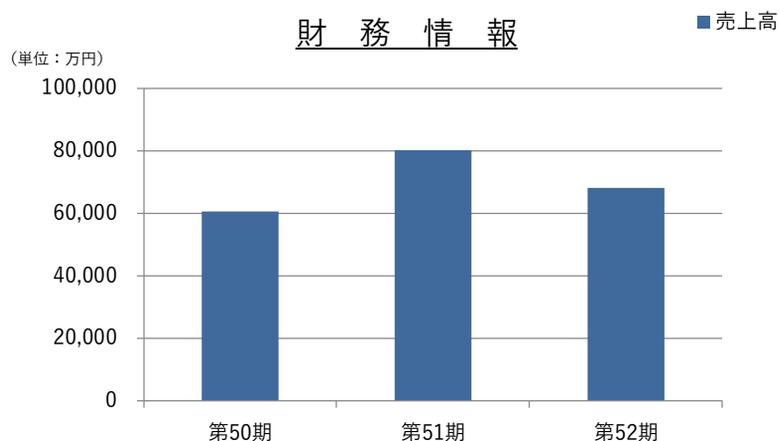
4



5

会社概要・財務情報・売上比率・従業員数

名 称	株式会社 横山サポートテック
所在地	(本社)〒678-0232 兵庫県赤穂市中広1370番地の1 TEL.0791-43-5328 FAX.0791-43-6568
設立	昭和41年3月
資本金	1,000万円
代表者	横山 淳平
事業内容	産業廃棄物処理業・一般廃棄物処理業・資源リサイクル業・土木工事業・人材派遣業
取引銀行	中国銀行赤穂支店・みなの銀行赤穂支店・トマト銀行赤穂支店
加入団体	一般社団法人 兵庫県産業廃棄物協会／一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 兵庫県解体工事業協会／日本リ・ソイル工業協同組合
ホームページ	http://www.yst21.co.jp
メール	info@yst21.co.jp



事業内容

保有設備のご紹介

破碎機

木くず、廃プラスチックなどを破碎し、助燃剤として、再利用します。

(処理能力)

廃プラ 4.56 t/日
がれき類 14.96 t/日
木くず 5.60 t/日



ベアラー機

ダンボール・フレコンバックなど、かさばる廃棄物を重機で投入し、自動圧縮します。

(処理能力)

紙くず 89.6 t/日
廃プラ 37.1 t/日



グラッシュ・エース

PEシートを造粒化して減容します。

(処理能力) 20~30kg/h



スチロールポスト

発泡スチロールを溶融して減容します。

(処理能力) 0.186 t/日



許可状況一覧

※産業廃棄物処理業の許可、全てにおいて優良認定を受けております。

許可区域	産業廃棄物収集運搬業		処分業
	普通産廃	特管産廃	中間処理
兵庫県	○	○	○
岡山県	○	○	-
広島県	○	○	-
大阪府	○	○	-
三重県	○	○	-
島根県	○	-	-
山口県	○	-	-
鳥取県	○	-	-
香川県	○	-	-

(当社の事業に係る許可)

- ・積替え保管品目
廃家電
廃プラスチック類
- ・一般廃棄物処理業 赤穂市 (収集運搬・処分)
上郡町 (収集運搬)
- ・一般建設業 (解体工事業)
- ・労働者派遣業
- ・倉庫業
- ・計量証明事業
- ・一般貨物自動車運送業
- ・古紙再生業
- ・古物商
- ・金属くず商

環境マネジメント

環境方針

横山サポートテックは、風光明媚な瀬戸内海を南に望み、兵庫県随一の清流である千種川のほとりに位置しており、この豊かな環境の保全に努める事を重要課題としています。

私達は廃棄物の収集運搬、中間処理の業務を行うに当り、社会的責任を認識し、地域への貢献を通じて、地球及び地域環境の保全に取り組みます。

1. 豊かな自然との共生を求め環境に配慮した日常生活と、廃棄物処理業を持続するため、環境関連の法律、条例、協定及び業界の要求事項を明確にし、環境目的、目標、プログラムを定め定期的に見直し、環境保全活動の継続的な改善を図ります。
2. 廃棄物を適正に処理、リサイクルするため、「法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項」を順守するにとどまらず、自主基準を制定し一層の環境保全に取り組みます。
3. 排出事業者様に最適なりサイクル方法を提案することはもちろん、徹底した廃棄物の分別を行う事により、資源リサイクル率を向上させ、火災・震災などの緊急事態が発生した場合も含め、環境に与える影響を可能な限り抑制し、環境保全と汚染の予防に取り組みます。
4. 地域の人や環境との調和を目指し、全従業員が地域社会における環境美化の促進に努めません。

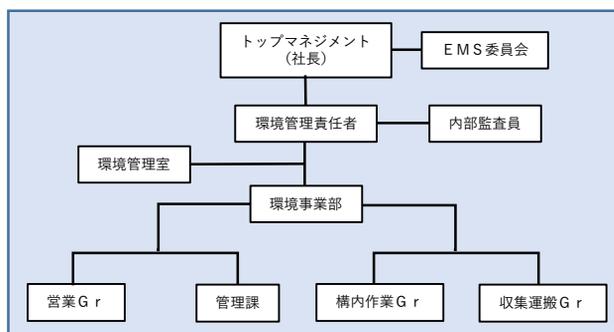
平成25年2月21日
株式会社横山サポートテック
代表取締役 横山 淳平

環境マネジメント推進体制

当社では「環境方針」に基づいて、環境側面を決定し「環境目標」を策定しています。その目標に対して、各課・Grでは「環境マネジメント実施計画」の策定を行い、その活動報告を「EMS委員会」にて議論し、評価を行い目標達成に向けて活動を行っています。



環境マネジメント組織図



(適用範囲)

環境事業部の事業活動である

廃棄物処理業

- ・ 特別管理産業廃棄物収集運搬
- ・ 産業廃棄物収集運搬及び中間処理 (破碎・減容・圧縮)
- ・ 一般廃棄物収集運搬及び中間処理 (破碎・減容・圧縮)
- ・ 資源リサイクル

等に関連する諸活動に適用する

環境マネジメント実施結果

年度	目的	目標	実施結果	要因・対策
2016	ドライバーの廃棄物知識向上によるお客様との連携強化	ドライバーの廃棄物知識とコミュニケーション能力を向上して、お客様と会話する	ドライバー自身が講師を務め、毎月勉強会を実施 外部講師を依頼してコミュニケーション・接遇研修を実施	今後もスキルアップを図る
	構内在庫量を維持管理するシステムの確立	構内在庫量を維持管理し、削減する	未達成 3月、12月の繁忙期および、破砕機故障時に、目標をオーバーした	今後も管理していく
	排出事業者様へのリサイクル方法等の提案による取扱量の増加	排出事業者様への効果的なりサイクル方法等の提案（20件/月以上） 成約率を70%以上にする	目標達成 提案件数 307件（年間累計） 成約率 71%（年間累計）	2017年度も取り組んでいく
	地域と連携した緑化活動・環境美化活動の実施	四季に応じた緑化活動・美化活動を推進	目標達成	今後も維持管理していく

内部監査及び外部監査の実施

当社ではISO14001を運用する中で、規格適合状況を、定期的に外部審査機関による監査を受けております。また、各課・Grにおいても環境マネジメントシステムが適切に運用されているかの確認をする為に、内部監査を年1回以上実施しています。2016年度の外部監査結果は以下の通りです。



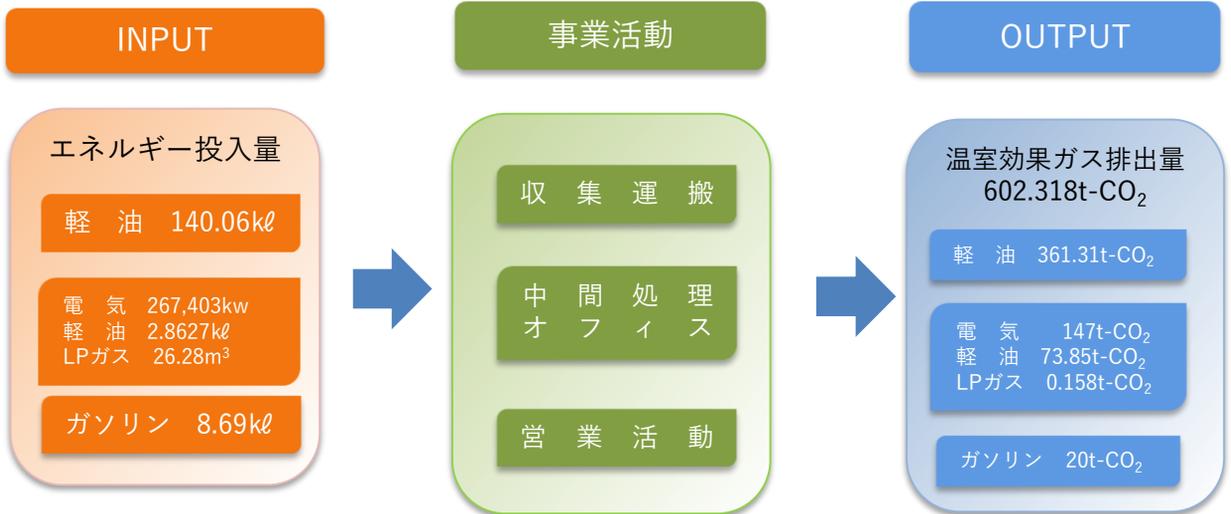
2016年度 ISO14001 サーベイランス審査結果			
分類	指摘事項	内容	対応内容
不適合（軽欠点）	法的及びその他の要求事項の特定漏れ	事務所で使用しているエアコンについてフロン排出規制法に基づく簡易点検が四半期に一回以上義務付けられているが特定されていない。	該当法令を特定して点検表を作成し、3ヶ月毎に点検することとした。平成28年5月19日にエアコンの点検を実施し、異常は認められなかった。
	法的及びその他の要求事項の順守違反	産業廃棄物収集運搬車に表示している文字寸法が1cm小さい。	全車両の表示を変更し、年2回の順守評価の際に確認することとした。
観察事項	構内の床面汚れ部について	蓋なしドラム缶置場において、空のドラム缶が20本程度保管であった。ドラム缶の周囲の床面が黒く汚れており、ドラム缶からの汚れと考えられるが、定期的な監視と汚れ部分の清掃の余地があった。	蓋なしドラム缶の在庫保管を止め、必要な時に蓋を切って使用する。
	内部監査の有効性の向上を目指して	観察事項に対応して、「2016年1月28日実施の内部監査指摘事項の対応について」が作成されていた。この資料は、「監査結果、指摘内容、対応方法、対応者、期日」欄が設けられており、EMS委員会で進捗を管理していた。しかしながら、最終的にどのように処置がなされたのかは記録からは読み取れなかった。	実施後の確認者を決め、確認状況を報告する。
	内部コミュニケーションの記録について	営業課では、課員3名が毎月の営業会議において営業戦略を計画し展開している。営業目標はこれらの戦略の適格性によりほぼ年度目標に沿った活動が行われていた。一方、新たな取引に対しての課題（関係法令などについての要員の知識のすり合わせ等）についても対象にし、記録することに検討の余地が見られた。	営業会議の議題に関係法令の改定等を含み、記録に残す。
高く評価できる事項	収集運搬車に備え付けた書類の整理について	産業廃棄物の収集運搬車には産業廃棄物収集運搬許可証等関係書類が準備されている。サンプリングした収集運搬車（距離100か80-50）には、有効期限切れの収集運搬許可証（兵庫県）と有効期限内の許可証が混在していた。新しい許可証を準備する時には旧許可証を回収することであったが、それらの仕組みに再確認の余地があった。	車両に搭載している許可証ファイルをファイルごと回収し、最新の許可証を入れ替えると共に、他の許可証も確認する。
	緊急事態への準備対応について	今年度実施された緊急事態への準備及び対応訓練では、訓練後に問題点を検出し、迅速に「緊急事態対応手順」に反映していた。	
	内部監査について	内部監査チェックリストは、内部監査の目的に沿って運用がなされており有効性の高い物であった。	
	教育訓練について	教育訓練への取り組みが優れていた。 (スキルアップ訓練、接遇マナー研修など)	

環境とのかかわり



マテリアルバランス

事業活動において必要な資源・エネルギーなどの投入量（インプット）及び事業活動を通じて排出される温室効果ガスなどの排出量（アウトプット）は、次の通りです。全体像を把握し、資源の有効活用及び環境負荷低減に取り組んでいます。

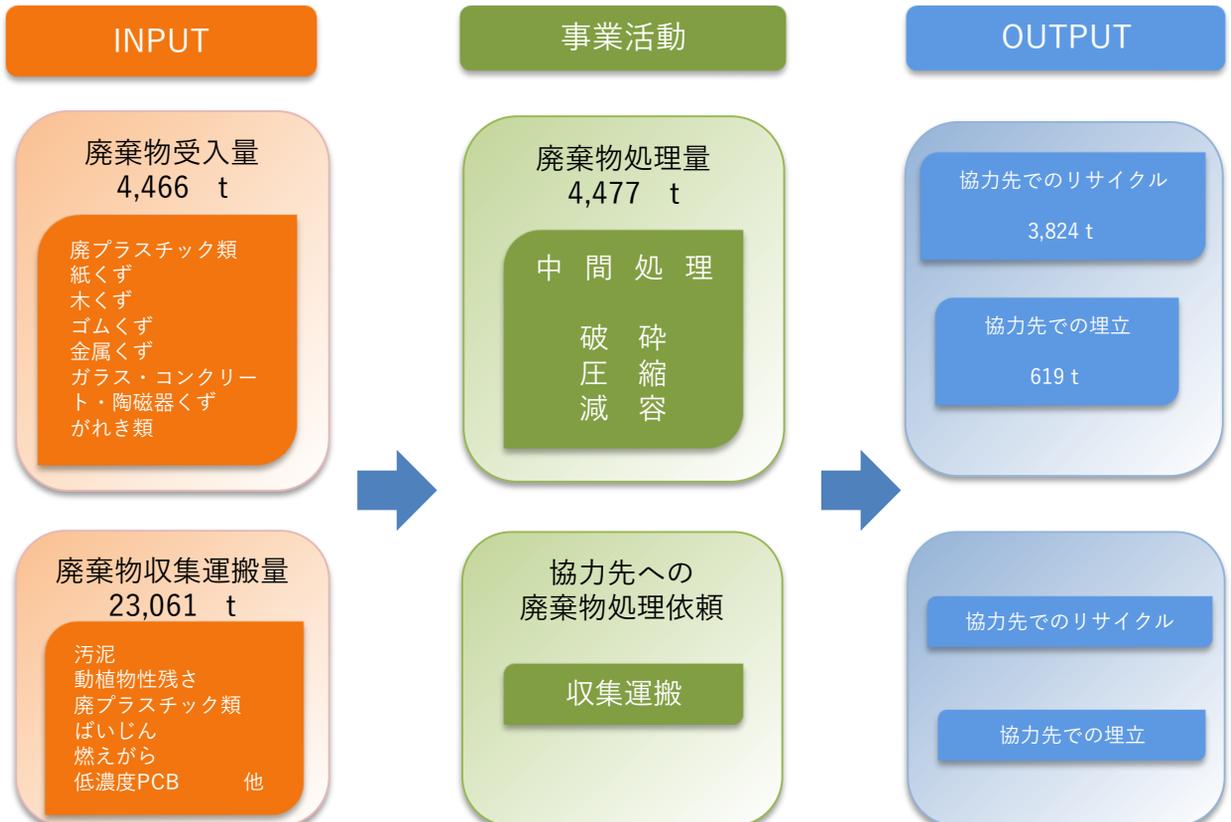


平成28年3月～平成29年2月実績



産業廃棄物処理フロー

当社が取り扱った産業廃棄物の処理の流れは、次の通りです。廃棄物の品目や性状に合わせて適正処理を行います。



平成28年3月～平成29年2月実績

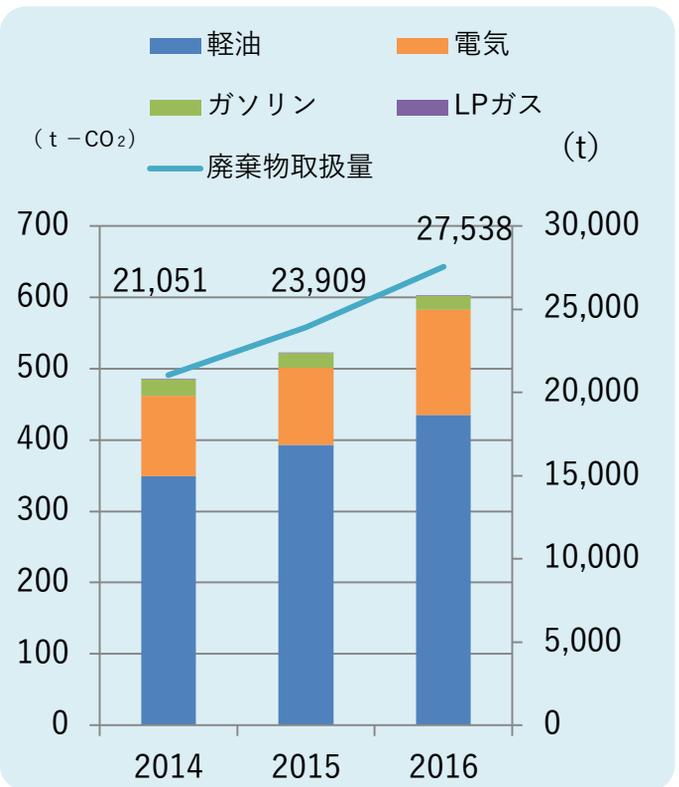
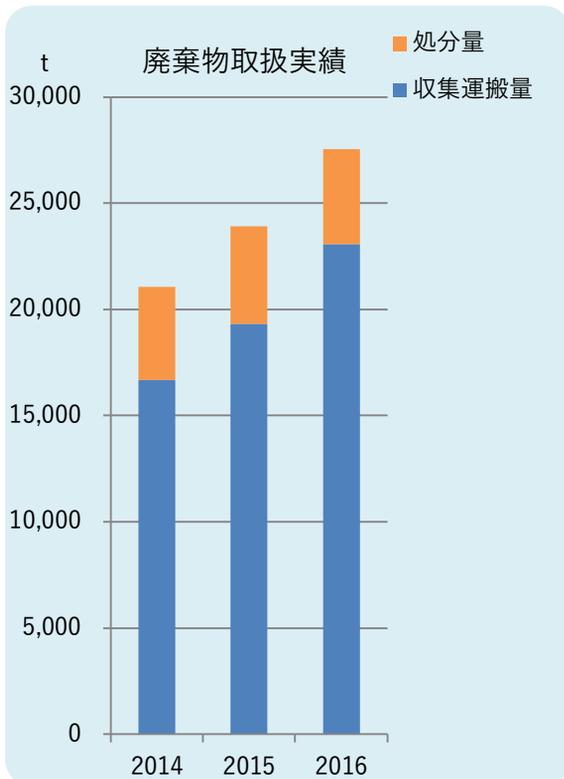
環境負荷低減の取り組み

廃棄物の収集運搬や処分には多くのエネルギーを消費していることを認識し、事業活動中での環境負荷低減に取り組んでいます。残念ながら、本年度は、取り扱う廃棄物量が増加し、エネルギー消費も増加していますが、来年度は廃棄物の量に対する t-CO₂ 割合を比較していきたいと思えます。

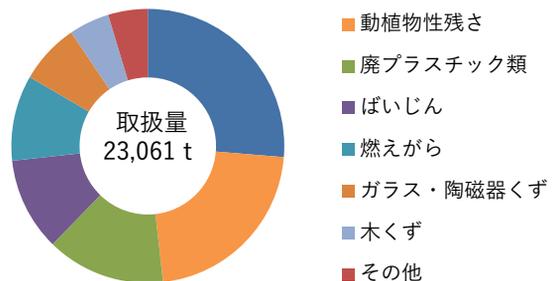


廃棄物取扱量の推移

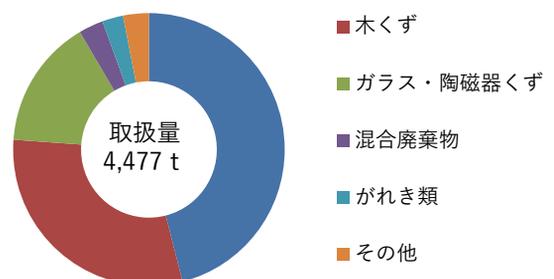
当社で取り扱う、産業廃棄物の収集運搬量と処分量についての概要です。



収集運搬量 (2016年度)



中間処理量 (2016年度)



安全衛生への取り組み

☀ 無事故・無災害2000日達成

2016年7月、無事故・無災害記録を継続して、2000日達成することができました。次は、3000日を目指し邁進中です。

☀ 安全衛生進歩賞受賞

平成28年5月 平成28年度安全衛生大会にて相生労働基準協会より『進歩賞』を受賞しました。



〔進歩賞とは、安全活動を熱心に実施し、又は労働衛生管理の改善向上に努力し、その効果が著しい事業場に贈られる賞のこと〕

☀ 緊急時訓練実施

本社において、火災という想定で緊急時訓練を行いました。消火器での消火訓練をはじめ、怪我人の救助・手当の訓練等も行いました。

各自の役割分担、連絡方法、道具の不備及び不具合など、問題点の改善に取り組みました。



☀ 安全衛生会議

月に一度、責任者による安全会議を行っています。業務改善提案書の内容を審議したり、提出されたヒヤリカード・気づきカードをもとに話し合い、安全に対する意識向上を図っています。

また、お客様からの指摘事項や工程等の変更を報告し、社内で情報の共有を行っています。





機械設備や重機・車両等の整備点検

毎朝、始業前に各社員の担当する重機及び車両等の点検を行い、安全に作業できる環境を整えています。また、月例点検では、重機及び車両の細部まで点検を行い事故防止に努めています。



毎朝の点呼

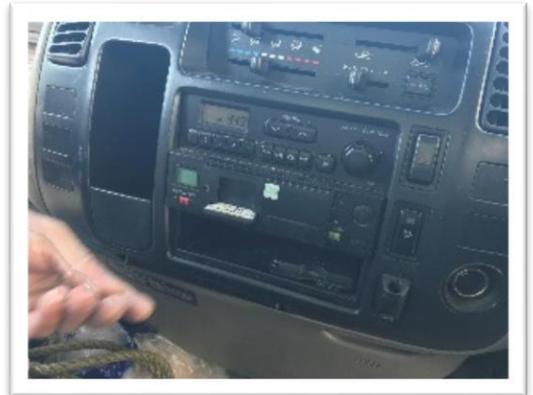
毎朝、運行管理者により、社員の健康状態の確認、またアルコール検知器により飲酒の確認を行い安全運行・法令順守に努めています。



デジタルタコグラフ・ ドライブレコーダーの導入

デジタルタコグラフを導入し、運行管理者の分析及び指導により、安全運転に努め、燃費向上で環境にやさしいドライビングテクニックを身につけています。

また、ドライブレコーダーを取り付けて画像を解析し、危険の察知などヒヤリハット活動に活用しています。



安全パトロール

社内の事故や災害につながる要因を未然に発見しこれらを改善・是正することで職場全体の安全確保と快適な職場環境のためにパトロールを行っています。



お客様とのかかわり

優良産廃処理業者認定制度

廃棄物処理法において、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査し認定する「優良産廃処理業者認定制度」があり、当社でも下記の許可において、優良認定を受けております。また、廃棄物の収集運搬及び処分の状況や財務諸表等を、「産廃情報ネット」にて公開しております。いつでもご覧いただくことができます。

<http://www.sanpainet.or.jp/>

当社の優良 認定 取得先	処分業	(産業廃棄物) 兵庫県
		(汚泥造粒固化) 岡山県、岡山市、倉敷市
	収集運搬	(産業廃棄物) 兵庫県、岡山県、大阪府、香川県、三重県、鳥取市、島根県、広島県、山口県
		(特別管理廃棄物) 兵庫県、岡山県、大阪府、広島県、三重県

施設見学の受け入れ

お客様に限らず、一般の方々にも施設を公開しております。
中間処理施設を見学して頂く事で、廃棄物処理への理解を深めて頂いております。
法改正により排出事業者様におかれましては「産業廃棄物の処理状況確認」が努力義務化されておりますので、ご要望があれば随時、施設見学の対応をさせていただきます。



お客様からの問い合わせについて

2016年3月から2017年2月の当社に向けて報告されたお客様からのクレームは49件、賞賛は2件でした。

クレームに対しては、速やかに内容を把握し、迅速に対応しております。原因を追及し対策を講じており、徐々に改善されているものの、まだまだクレームが存在しております。

今後は、クレームよりも賞賛の件数が増えるよう、より満足していただける企業を目指して努力してまいります。

報告

連絡

相談



エコキャップ運動

<ペットボトルのキャップを再資源化する活動を行っています>

エコキャップ推進協会の協力業者として、エコキャップの受け取りをしています。当社が今まで受け取ったエコキャップは合計で254トンです。

地球に未来を、子供に未来を。

エコキャップ運動は

NEXT STAGEへ!



CO ₂ の削減	キャップ1kgをゴミとして焼却しない事でCO ₂ が3kg以上削減されます。
雇用創出	キャップの異物除去、分別の仕事を障害者高齢者の雇用創出・自立支援に繋がります。(エコキャップ推進協会の活動です)
再資源化	キャップの再生素材から色々な製品が生まれ、循環型社会を実現します。



※エコキャップ運動の詳細はエコキャップ推進協会のホームページをご覧ください。

<http://ecocap.or.jp/>

地域とのかかわり

地域を美しくするために

当社では社内外において様々な清掃活動を行っています。本年度から奉仕活動時のユニフォームを新調し、気持ちを新たに取り組んでいます。

5.29 加里屋川清掃

「加里屋川ふるさとの川整備連絡協議会」主催の清掃活動に参加しました。「加里屋川をホタルが飛び交う川に戻そう」という取り組みで、周辺地域や企業からたくさんの方々が参加しました。

当社からは25名の社員とその家族が参加しました。



5.30 赤穂クリーンアップ大作戦

「5月30日」を‘ごみゼロの日’とする語呂合わせにちなんで「地域経済を担う一員として快適な環境づくりに役立とう」と、平成19年からほぼ毎年実施しており、当社会長横山正明が「赤穂商工会議所環境衛生・ものづくり委員会委員長」として継続して活動しています。



7.23 舞子公園清掃ボランティア

兵庫県産業廃棄物協会青年部主催の「舞子公園清掃ボランティア」に参加しました。

当日は130人の参加があり、全員で公園内の清掃を行いました。



周辺地域の清掃活動

毎月1回、全社員で周辺地域の清掃活動を行っています。回収しているものには道路にポイ捨てされた弁当等の空き容器・空き缶・たばこが多くみられます。残念ながら回収量は減らず、毎回同程度のゴミを回収しています。

今後も周辺地域がよりきれいになるよう、積極的に清掃活動を行ってまいります。



緑あふれるまちづくりのために

当社では構内の緑化活動と、今年度より地域と連携した緑化活動を行っています。また、今年度より種から苗に育てる取り組みを始めました。

地域と連携した緑化活動

5月25日、緑を育てる楽しさを知ってもらおうと、地元幼稚園を訪問し、ゴーヤの苗とアサガオとフウセンカズラの種を配り一緒に植えました。ゴーヤの苗の一部は当社で春に種から育てたものを、アサガオとフウセンカズラの種は昨年当社で収穫したものを使用しました。



グリーンカーテン

毎年事務所の壁を利用して、グリーンカーテンにチャレンジしています。今年はゴーヤ・フウセンカズラ・アサガオ・カボチャを植えました。残念ながらカボチャの収穫はできなかったものの、ゴーヤはたくさん収穫できたので社員で美味しくいただきました。



構内緑化活動

構内の花壇の手入れはすべて社員で行っています。今年度は新しく種から育てる取り組みを始めました。1年を通して色とりどりの花が咲き誇り、社員の日を楽しませています。



「緑の募金」への寄付

「公益社団法人兵庫県緑化推進協会」へ、社内設置した募金箱に集まった16,267円を寄付しました。これらは兵庫県内の緑化活動に役立てられます。



社員とのつながり

スキルアップを目指して

当社では社員のスキルアップを目指し、様々な取り組みを行っております。

各種勉強会 及び 研修会

新入社員の研修をはじめ、毎年各部署で設定した勉強会を実施し、スキルアップを目指しています。

今年度は、講師を招き接客マナー講習も実施しました。



表彰制度

各種賞を設定し社員の自己啓発を推進しています。

《優良従業員表彰》

兵庫県産業廃棄物協会及び赤穂商工会議所における優良従業員表彰に推薦しています。

本年度は、合計4名の推薦となりました。

《デジタコ賞》

燃費向上に貢献して安全運転を心がけている優秀なドライバーを表彰しています。

《安全標語賞》

毎年11月に、社員より安全標語を募集し、その中から優秀な12作品を選び表彰しています。

選考された、安全標語は毎月1作品づつ掲示しています。

《チャレンジ100（無事故無違反運動）達成賞》

兵庫県警本部と交通安全協会が行っている、無事故無違反運動に参加し、100日間無事故無違反を達成した社員を表彰しています。

本年度は4チーム（40人）の参加となりました。



資格取得制度

業務に必要な資格・免許の取得を目的とした、資格取得制度を導入しています。

また、環境社会検定（eco検定）の受験を支援しています。当社における環境社会検定合格者（エコピープル）は9名となりました。



親睦を深めるために

新年会

毎年1月に全社員が集まって新年会を行っています。新年会では、各種表彰や恒例のビンゴゲームなどで盛り上がり、普段あまり交流のない職場の人たちとも話ができて、社員同士のコミュニケーションを図る場となっています。



50周年記念祝賀会

赤穂ロイヤルホテルにて『設立50周年記念祝賀会』を開催しました。祝賀会には、社員の家族を招待し、50周年のあゆみをスライドショーで見たり、スペシャルゲストの漫才に笑い、スーパービンゴゲームに盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。

50周年を迎え心新たに、社員全員が一丸となり、地域から不可欠とされる存在を目指します。



健康のためにできること

当社では従業員が健康で業務に従事できるよう対策を行っています。

健康診断

毎年1回、健康診断を実施し、自己の健康管理の啓発を行っています。希望者には協会けんぽが実施している特定保健指導を勧めています。



熱中症対策

屋外での作業が多い従業員の為に、スポットクーラーを設置し、ドリンク・飴・塩など熱中症対策商品を常備しています。



インフルエンザ対策

毎年11月に、全従業員を対象に予防接種を行い、インフルエンザの感染予防を行っています。





表紙の写真は、赤穂ピクニック公園です

株式会社 横山サポートテック

●お問い合わせ先

管理部 管理課

TEL:0791-43-5328 (代表) FAX : 0791-43-6568

<http://www.yst21.co.jp>